

平成 29 年度一般選抜入学試験問題（都市経営学研究科）

専門科目問題

(90 分)

※専門科目は一般選抜で受験した場合のみ受験科目となります。

以下のA（計画・環境系 A-1～A-3）およびB（経済・社会系 B-1～B-3）の設問群から、それぞれ1問ずつ選んで解答しなさい。

A（計画・環境系）

A-1

日本の都市基盤施設（都市インフラ）の老朽化について、下記5つの用語を適切に用いて、①都市インフラの老朽化が課題となっている経緯、②都市インフラ老朽化への対策、③都市インフラ老朽化対策として求められている取組み、について1000字程度で記述しなさい。

【用いる用語】

「高度経済成長」「笹子トンネル天井板落下事故（2012年12月）」「荒廃するアメリカ」
「インフラ長寿命化計画」「公共施設等総合管理計画」

A-2

高度経済成長期の急激な市街地化の進展に対応し、1968（昭和43）年に公布された都市計画法では区域区分制度や開発許可制度、縦覧や意見書提出などの計画決定手続きが新たに定められた。そこで、①区域区分制度について300字程度で概説し、さらに、②開発許可制度について300字程度で概説しなさい。また、人口減少・少子高齢化時代を迎えた昨今の状況を踏まえ、③区域区分制度や開発許可制度が抱える課題を400字程度で論じなさい。

A-3

表1は、内閣府が2012年に発表した南海トラフ地震（ケース⑤）による平均津波高および最短到達時間の想定値について、図1に示す5ヶ所の市町村における値をまとめたものである。ケース⑤は、図1の網掛け領域「四国沖～九州沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定した場合を示す。次の問いに答えよ。

表1 南海トラフ地震（ケース⑤）による平均津波高および最短到達時間

| | 平均津波高[m] | 最短到達時間[分] ^{※1} |
|-------------|----------|-------------------------|
| A 広島県福山市 | 3 | 231 |
| B 鹿児島県奄美市 | 4 | 53 |
| C 高知県四万十市 | 17 | 13 |
| D 高知県高知市 | 8 | 20 |
| E 高知県安芸郡東洋町 | 6 | 4 |

【出典】内閣府「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等（第二次報告）及び被害想定（第一次報告）について」（2012年8月29日発表）

※1 最短到達時間は、1m高の津波が到達する最短時間を示す。

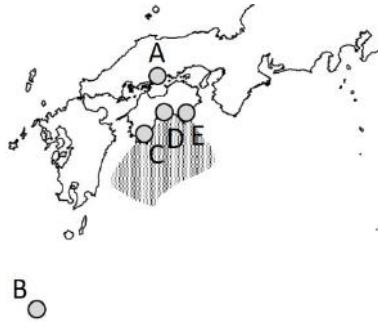


図1 南海トラフ地震（ケース⑤）で10m以上のすべりを想定する領域（網掛け）

図中のA～Eは、表1に挙げた市町村の位置を示す。

(1) 大きなすべりが生ずる震源域（図1の網掛け領域）からの距離を考えたとき、点Bの奄美市は点Aの福山市よりも遠いにも関わらず、津波が早く到達すると想定されている。なぜ、このような想定になるのか、考えられる理由を述べよ。

(2) 点C～Eの高知県3市町村は互いに近い場所に位置するにも関わらず、平均津波高の想定値が大きく異なっている。なぜ、このような想定になるのか、考えられる理由を述べよ。

B (経済・社会系)

B-1

1990年代以来、「市民社会」をめぐる理論や実践は、日本を含め世界において、大きく変化してきた。市民社会をめぐり、一部の有産層が担うとする古い「市民社会」像が、多くの人々が担う社会としての新たな「市民社会」像へと変化することが見られ、世界的に「市民社会論ルネサンス」と呼ばれている。そして、これは、市民の側でのボランティア活動やNPOとしての活動という新たな展開と響きあっているものである。

さて、①日本においてどのような経緯でNPOが生まれ活動することとなったのか、また、②NPOとはどのようなものなのかの概略について、③またそれはどのような制度的特質を持つのかについて、あわせて400字～500字程度で説明せよ。尚、その際、「ボランティア元年」「正式名称」「英語」「制度の特質」「分野」の言葉を説得的な形で文中に用いること。

B-2

外部不経済問題を解決する方法は、政府の介入による政策をとるケースと、政府の介入なしに当事者間で解決する政策をとるケースの2つに大別される。

- (1) それぞれの政策によって外部不経済問題はどうか解決できるのかを例を挙げて論じなさい。
- (2) それぞれの政策が持っている限界と問題点について論じなさい。
- (3) 地球温暖化現象を全地球規模の外部不経済問題として捉えた場合、それぞれの政策は具体的にどのように適用できるかについて論じなさい。

B-3

日本の少子高齢化について、①日本の総人口の概要とともに、②日本の総人口の展開についての概略を記し、さらに③地域社会に対するその影響について600～700字程度で述べよ。尚、その際「日本総人口のピーク」「高齢社会」「高齢化社会」「超高齢社会」「現在の高齢化率」「現在の出生率」「人口を維持するのに必要な出生率」「無縁死」の言葉を、説得的な形で文中に用いること。

(問題は以上です。)